

# しんじひじ 真慈悲寺と阿弥陀如来坐像

ほうあんこ

百草八幡神社の境内にある奉安庫には、国指定重要文化財の銅造「阿弥陀如来坐像」が安置されています。この阿弥陀如来坐像は中世の大寺院真慈悲寺の存在を示す重要な資料です。

背中の銘文から、この像は源氏出身の女性が

施主となり、建長2年(1250)に「日本武州多西吉とみ

富真慈悲寺」に造立されたことがわかります。僧

けいゆう  
慶祐を願主として子孫の平安や亡くなった人の

冥福を祈るためにつくられました。

毎年9月の例大祭には一般公開されます。



敬白治磨金銅歌像法界菩薩座光三六  
奉為皇帝日本主君 當國府尹 地頭名主  
佛願門浦安穩泰平信法主 子孫平安  
善地成就 師長父母 二親三魂 助成合力  
同六性主 乃至法界 幸利益 達長二年  
大歲庚戌 孟夏之天七日五刀 南阿浮提  
日本武州多西吉富真慈悲寺施主源氏  
願主佛子慶祐敬白